



平成 27 年 12 月 24 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ジ ー エ ヌ ア イ グ ル ー プ
代 表 者 名 取 締 役 代 表 執 行 役 社 長 イ ン ・ ル オ
兼 C E O
(コード番号: 2160 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取 締 役 代 表 執 行 役 ト ー マ ス ・ イ ー ス ト リ ン グ
C F O
(TEL. 03-6214-3600)

当社連結子会社によるフォーム状製剤（外用薬）の治験許可申請に関するお知らせ

平成 27 年 12 月 22 日、当社の連結子会社である北京コンチネント薬業有限公司（以下、北京コンチネント）は、酪酸ヒドロコルチゾンの温度により制御されるフォーム状製剤（外用薬）の治験許可（以下、IND）申請書を北京市食品薬品监督管理局に提出し、受理されましたのでお知らせいたします。本申請については、今後は中国国家食品薬品监督管理局により評価・検討が行われることとなります。

北京コンチネントは、平成 25 年 11 月に GENEPHARM Biotech Corp.（台湾企業）と技術導入契約を締結し、フォーム状製剤（外用薬）の開発を行ってまいりましたが、この度の IND 申請は、両社の約 2 年間に及ぶ共同開発の成果であります。

酪酸ヒドロコルチゾンは、店頭で販売されている一般医薬品で、湿疹、乾癬、接触性皮膚炎等に日常的に使用されている医薬品です。現状の製剤形態であるクリームは、髪、皮膚に貼り付きやすく、また、塗布した患部の衣服にしみを付けることとなりますが、このためにその分医薬品の有効性を損なうこととなります。一方、フォーム状製剤は、革新的な液体製剤で、セ氏 30℃から 40℃の温度で皮膚に接触すると泡がはじけ医薬品を放出するものです。

これまでの試験では、この剤形の製剤によれば、医薬品の伝送及び皮膚からの吸収は著しく改善することが分かっています。

本製剤が承認されれば、これは中国で初めての温度により制御されるフォーム状製剤となります。

なお、本件による平成 27 年 12 月期連結業績への影響はございません。

以 上